



院長の1分レクチャー3 【黄色い鼻水】

みなさんは黄色い鼻水が出ると「風邪が悪くなったサイン」と思っていますか？

実は多くの場合「風邪が良くなってきたサイン」です。

風邪をひいた当初は透明の鼻水が出ますよね。これは体に入ってきた風邪ウイルスを外に洗い流すためです。それが数日すると色のついた粘っこい鼻水に変わってきます。これは風邪ウイルスと戦った結果、つまり白血球や免疫細胞・粘膜細胞などの死骸を見えています。この黄色い鼻水が出切ってしまうと風邪は治ります。鼻をうまくかめない子はこの時期が少し長くなりがちですね。

もしこのサイクルから外れている場合、たとえばずっと黄色い鼻水が出ているときは副鼻腔炎の可能性もあるのでもう一度受診しましょう。

※「院長の1分レクチャー」はホームページや公式LINEアカウントからも読むことができます。



おおつか
こどもクリニック